



絆（きずな）

目指す児童像

- やさしい子
- よく考える子
- ふるさと思いの子

ふるさと河野を大切に作る心を育成する ～炊（かしき）の会の方々とふるさと学習（6年）～

■今年度の学校経営の重要事項の1つに、ふるさと学習の推進によって、ふるさと河野を大切に作る心を育成することがあります。従来に取り組みに加えて新規の取り組みとして、8月31日(水)に越前水仙を守り、育てる学習を行いました。現在、毎朝、児童が鉢植えの水仙に水やりをしています。自分で世話をすることによって、越前水仙への愛着を持つようになると考えています。

■9月30日(金)に炊（かしき）の会の方々をお招きして、6年生を対象としたふるさと学習を行いました。今回の学習のテーマは、ふるさと河野を元気にしようとしている



ゆるキャラ「こうのすけ」の発表

方々の思いに触れること、さらに料理人として誇りをもって仕事に取り組む態度を知ることでした。今、6年生は「将来の河野のあるべき姿」を自分たちで考え、提案することを目指して情報収集や仲間との協議を進めています。10月29日(土)のしおかぜ集会で中間発表を行うことになっています。

■当日は児童が考えたゆるキャラ「こうのすけ」、B級グルメ「河野バーガー」について発表し、炊の会の方々のご意見を伺いました。「河野バーガー」は河野産の魚（当日は都合により冷凍食品を使用しました）のフライをバンズにはさみ、河野梅を使った梅ソースをかけたものです。6月から準備を始め、この日の試作にこぎ着けました。炊の会の方からは「おいしい」「パーフェクト」「塩味をもう少しきかせるとよい」などのアドバイスをいただきました。



料理の盛り付け体験

■後半は炊の会の方々の指導で河野でとれたサワラを使ったたたきとフライを作る体験、料理を盛り付ける体験をしました。最初に炊の会の方が目の前で大きなサワラをさばくのを見学しました。児童は手際よくさばかれる様子を見て、歓声をあげていました。最後に自分たちで作ったサワラのたたきなどを彩りやバランスを

考えて、美しく盛り付けようがんばっていました。

6年生がこの体験をもとにして、しおかぜ集会でどんな発表をするのか？大変楽しみです。